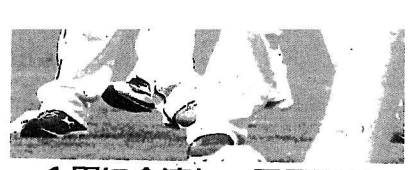


1軍に合流し、甲子園の室内練習場で汗を流す日本ハムの吉田輝（左）

	防御率	勝	敗	投球回	安打	振球	打数
巨人・山口―ロッテ・土肥	1.80	7	3	61	26	30	264
ヤクルト・ブキャナン―オリックス・山岡	1.77	6	1	59	34	30	264
DeNA・井納―西武・榎田	1.06	3	1	34	30	11	111
中日・ロメロ―楽天・岸	1.38	1	1	26	24	10	111
阪神・岩田―日本ハム・金子	2.31	2	0	35	33	10	111
広島・ジョンソン―ソフトバンク・高橋礼	4.08	2	0	35	33	10	111
	3.00	0	0	3	4	1	15

【アナハイム共同】米大リーグは6日、各地で行われ、エンゼルスの大谷がアナハイムでのアスレチックス戦に「3番・指名打者」でフル出場し、4打数1安打、1得点。

メッツ	7	3	ジャイアンツ
パイレーツ	6	1	ブレーブス
カージナルス	3	1	レッズ
ブルワーズ	5	1	マーリンズ
ロッキーズ	3	1	カブス
パドレス	5	4	ナショナルズ

第3回全国500歳野球大会

県内外32チーム激突

大仙市で来月13日開幕

第3回全国500歳野球大会（7月13～15日・大仙市）の組み合わせが7日決まった。大会には県外から11道県の22、県内から10の計32チームが出場し、トーナメントで争う。大仙市、秋田魁新報社の主催。

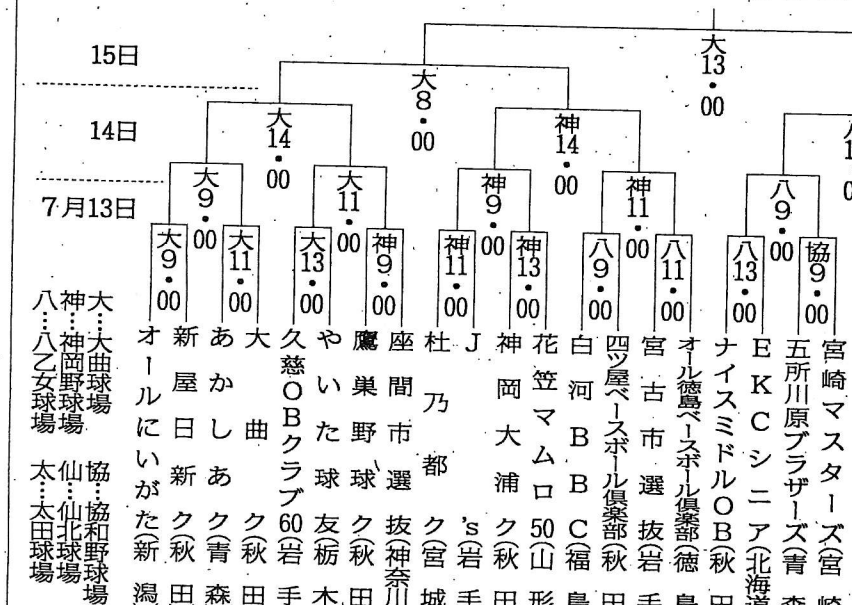
初日の13日は大曲球場、神岡野球場、八乙女球場、協和野球場、仙北球場、太田球場で1回戦、14日は大曲、神岡、八乙女、協和で2回戦と準々決勝、15日は大曲で準決勝と決勝をそれぞれ行う。13日に敗れた県外チームは、希望すれば14日の交流戦（仙北、太田）に参加できる。

県外チームは昨年より1増えた。初代王者の横浜シニア（神奈川）など14チームが3年連続3度目の出場。EKCシニア（北海道）、花笠マムロ50（山形）、オール徳島ベースボール倶楽部、宮崎マスターズの4チームが初挑戦となる。県勢は昨年、初優勝した牛島ク（秋田市）、全県大会を制したナイスミドルOB（同）、同準優勝の高清水野球ク（同）などが迎え撃つ。

組み合わせ抽選は秋田魁新報社で行われ、1回戦で同じ県のチームが当たらないように振り分けてから、大会役員が代理でくじを引いた。1回戦で、横浜シニアクがオール鶴岡（山形）、牛島クはNRク（新潟）と顔を合わせる。

開会式は12日午後5時から大仙市の山の手ホテルで開かれ、選手宣誓は五所川原ブラザーズ（青森）の代表者が務める。

（藤田向）



ジョコ、ティエム4強

第12日

【パリ共同】テニスの全仏オープン第12日は6日、パリのローランギャロスで行われ、男子シングルス準々決勝は四大大会4連勝を目指す第1シードのノバク・ジョコビッチ（セルビア）と昨年準優勝で第4シードのドミニク・ティエム（オーストリア）が勝ち、4強入りを果たした。7日の準決勝で両者が顔を合わせる。四大大会のこの種目で上位4シードがベスト4を占めたのは2012年全豪オープン以来。

ジョコビッチは第5シードのアレクサンダー・ズベレフ（ドイツ）を下し、初優勝した16年大会以来3年ぶりのベスト4。ティエムは第10シードのカレン・ハチャノフ（ロシア）を6―7、6―3、6―3で逆転勝ち。ボンドロウソバは第26シードのジョアンナ・コンタ（英国）を7―5、7―6で破った。

上地決勝進出

車いすの部

【パリ共同】テニスの全仏オープン車いすの部は7日、パリのローランギャロスで行われ、女子シングルス準決勝で3年連続4度目の優勝を目指す第2シードの上地結衣（三井住友銀行）がマリヨレン・バウス（オランダ）を6―4、7―5で下し、決勝に進んだ。男子シングルス準決勝で2連覇を狙った第1シードの国枝慎吾（ユニクロ）は2016年リオデジャネイロ・パラリンピック金メダリストのゴードン・リード（英国）に6―2、6―7、2―6で逆転負けした。

初採用の男子上下肢障害シングルスで菅野浩二（リクルート）は初戦で敗退した。